

平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年12月21日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東証第二部  
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL (042) 643-6835

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年2月期第3四半期の業績（平成19年2月21日～平成19年11月20日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	17,387	△19.6	△29	—	△68	—	△63	—
19年2月期第3四半期	21,619	△15.4	△621	—	△698	—	△3,411	—
19年2月期	31,134	△17.2	△156	—	△259	—	△3,703	—

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	△4	45	—	—
19年2月期第3四半期	△243	26	—	—
19年2月期	△263	30	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年2月期第3四半期	12,526	5,264	42.0	370	81
19年2月期第3四半期	15,327	5,651	36.9	398	23
19年2月期	13,819	5,365	38.8	377	88

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第3四半期	210	△89	△891	973
19年2月期第3四半期	△1,043	△277	△843	999
19年2月期	25	△219	△1,226	1,744

2. 平成20年2月期の業績予想（平成19年2月21日～平成20年2月20日） 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	25,000	△19.7	310	—	270	—	270	—	19	03

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期 (平成19年 2 月 21 日～平成19年11月20日) におけるわが国の経済は、好調な企業業績を背景に緩やかな拡大を続けているものの、年金問題や税負担に対する先行き懸念、また、後半にかけてサブプライムローン問題の影響や原油高等による消費者物価の上昇などの要因により、個人消費については力強さに欠ける状況でありました。

当業界におきましても、このような個人消費の状況に加え、残暑による秋冬商品の立ち上がりの遅れも影響し、既存店の売上減少傾向が鮮明になりつつあり、これを補完するための新規出店や事業買収等による業界再編が加速し、市場の競合環境はますます激化する方向で推移いたしました。

このような状況のもと当社といたしましては、約 3 年間にわたり取組んでまいりました不採算事業及び店舗の撤退を中心とする事業再構築の最終段階として、ファッション事業の不採算店舗 2 店舗を閉鎖する一方、ファッション事業での 1 店舗の出店や家電事業の外商部門強化によるオール電化関連商品や太陽光発電システムへの取組みといった新規需要開拓に注力するとともに、ファッション事業での中・低価格帯の高付加価値商品の販売強化や家電事業での地域・顧客密着戦略による競合店との差別化策など、収益率の向上を図ってまいりました。

これらの結果、売上高は17,387百万円 (前年同期比△19.6%)、営業損失は29百万円 (前年同期は621百万円の損失)、経常損失は68百万円 (前年同期は698百万円の損失)、四半期純損失は63百万円 (前年同期は3,411百万円の損失) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は12,526百万円となり、前事業年度末に比べ1,292百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が481百万円減少したこと、店舗閉鎖等により商品が313百万円減少したこと、遊休資産の売却等により有形固定資産が203百万円、投資有価証券が263百万円減少したことによるものであります。

負債合計は7,262百万円となり、前事業年度末に比べ1,191百万円減少いたしました。これは主に、長短期借入金の純減少額830百万円のほか、店舗閉鎖損失引当金296百万円の取崩などによるものであります。

純資産合計は5,264百万円となり、前事業年度末に比べ101百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失63百万円の計上及びその他有価証券評価差額金37百万円の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は42.0% (前年同期は36.9%、前事業年度末は38.8%) となりました。

当第 3 四半期における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べ771百万円減少し、973百万円となりました。

当第 3 四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において営業活動の結果増加した資金は210百万円 (前年同期は1,043百万円の減少) となりました。

これは主に、たな卸資産の減少313百万円による資金の増加と利息、税金の支払などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において投資活動の結果使用した資金は89百万円 (前年同期比67.6%の減少) となりました。これは主に、定期預金の純増加290百万円、有形固定資産の取得115百万円、差入保証金の純増加132百万円があったものの、有形固定資産272百万円、投資有価証券210百万円の売却収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において財務活動の結果使用した資金は891百万円 (前年同期比5.7%の増加) となりました。これは主に、長短借入金の純減少額830百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、第 3 四半期もほぼ計画どおり推移しており、平成19年10月 5 日に公表しております中間決算短信 (非連結) の予測数値からの変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ① たな卸資産については、実地たな卸は行わず帳簿たな卸残高によっております。
- ② その他、影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

##### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,859	2,123	263	14.2	2,604
売掛金	921	776	△144	△15.7	813
商品	7,158	5,559	△1,599	△22.3	5,872
その他	610	551	△59	△9.7	611
流動資産合計	10,550	9,010	△1,539	△14.6	9,902
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
建物	667	457	△209	△31.5	488
土地	1,062	854	△208	△19.6	1,010
その他	197	124	△72	△36.8	139
有形固定資産合計	1,926	1,436	△490	△25.5	1,639
(2) 無形固定資産	87	79	△7	△9.1	92
(3) 投資その他の資産					
差入保証金	2,164	1,705	△458	△21.2	1,637
その他	804	500	△304	△37.8	753
貸倒引当金	△205	△205	0	0.0	△205
投資その他の資産合計	2,762	2,000	△762	△27.6	2,184
固定資産合計	4,777	3,516	△1,260	△26.4	3,916
資産合計	15,327	12,526	△2,800	△18.3	13,819

科目	前年同四半期末 (平成19年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形	219	198	△20	△9.6	621
買掛金	1,515	994	△520	△34.4	376
短期借入金	4,757	4,048	△709	△14.9	4,734
未払金	588	519	△69	△11.8	637
賞与引当金	196	198	1	0.8	151
ポイント費用 引当金	195	150	△44	△22.9	168
店舗閉鎖損失 引当金	474	55	△418	△88.2	352
その他	203	178	△24	△12.0	240
流動負債合計	8,151	6,344	△1,806	△22.2	7,283
II 固定負債					
長期借入金	580	101	△479	△82.5	245
退職給付引当 金	307	304	△2	△0.8	312
繰延税金負債	61	34	△27	△44.2	60
その他	576	478	△98	△17.1	551
固定負債合計	1,525	918	△606	△39.8	1,170
負債合計	9,676	7,262	△2,413	△24.9	8,453
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	2,979	2,979	—	—	2,979
資本剰余金	4,434	4,434	—	—	4,434
利益剰余金	△1,832	△2,187	△355	—	△2,124
自己株式	△2	△2	△0	—	△2
株主資本合計	5,579	5,224	△355	△6.4	5,287
II 評価・換算差額等	68	36	△31	△46.3	74
III 新株予約権	2	2	—	—	2
純資産合計	5,651	5,264	△387	△6.9	5,365
負債、純資産合計	15,327	12,526	△2,800	△18.3	13,819

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年2月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	21,619	17,387	△4,232	△19.6	31,134
II 売上原価	16,778	13,232	△3,545	△21.1	24,008
売上総利益	4,840	4,154	△686	△14.2	7,125
III 販売費及び一般管理費	5,462	4,184	△1,278	△23.4	7,282
営業利益	△621	△29	592	—	△156
IV 営業外収益	51	33	△18	△35.6	72
V 営業外費用	128	72	△56	△43.9	174
経常利益	△698	△68	629	—	△259
VI 特別利益	—	157	157	—	68
VII 特別損失	2,702	128	△2,573	△95.2	3,487
税引前四半期 (当期) 純利益	△3,400	△39	3,360	—	△3,678
税金費用	11	23	11	102.9	24
四半期 (当期) 純利益	△3,411	△63	3,348	—	△3,703

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年2月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益(△損失)	△3,400	△39	△3,678
減価償却費	132	94	175
減損損失	1,960	17	2,513
賞与引当金の増加額	52	47	7
ポイント費用引当金の減少額	△28	△17	△55
店舗閉鎖損失引当金の増減額等	146	△131	26
退職給付引当金の減少額	△7	△8	△1
貸倒引当金の増減額	205	△0	205
固定資産除却売却損	5	4	140
売上債権 (前受金含む) の減少額	58	34	188
たな卸資産の増減額	△477	313	808
仕入債務の増減額	57	98	△590
未払金の減少額	△75	△122	△28
その他	427	23	434
小計	△942	314	145
利息及び配当金の受取額	9	11	10
利息の支払額	△81	△78	△102
法人税等の支払額	△28	△36	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,043	210	25
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の純増加額	△250	△290	△250
有形固定資産の取得による支出	△124	△115	△116
有形固定資産の売却による収入	—	272	104
無形固定資産の取得による支出	△38	△1	△157
投資有価証券の売却による収入	—	210	—
差入保証金の取得による支出	△9	△276	△10
差入保証金の回収による収入	142	143	261
その他	2	△32	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△89	△219

	前年同四半期 (平成19年 2 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成20年 2 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成19年 2 月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△290	△50	△320
長期借入れ (1 年内含む) による収入	1,025	—	1,025
長期借入金 (1 年内含む) の返済による 支出	△1,617	△780	△1,945
設備割賦契約の返済による支出	△128	△61	△154
株式の発行による収入	148	—	148
その他	18	△0	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△843	△891	△1,226
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—	0
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少 額)	△2,164	△771	△1,420
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,164	1,744	3,164
VII 現金及び現金同等物の期末残高	999	973	1,744